

泉ヶ丘小

400年の歴史 形崩さず伝承



これがイチオシ

広い校庭使い「逃走中」

泉ヶ丘小学校は、自然が豊かで広い校庭があります。春に桜が満開になると、学校の周りがきれいなピンク色に染まります。夏は虫をたくさん見つけられます。秋は紅葉の観察やどんぐり集めを楽しめます。冬は校庭一面に雪が積もり、斜面でそり滑りができます。

「全校遊び」の企画で、「逃走中」を行いました。先生たちがスーツ姿にサングラスをかけてハンターになり、鬼ごっこをします。みんな先生たちから逃げるのに必死で、広い校庭を思い切り走り回りました。

校名 仙台市立泉ヶ丘小学校
所在地 仙台市泉区明通4の12の1
創立 1979年
電話 022(372)1275
校長 長田 博史
児童数 220人

大沢田植踊練習し披露

泉ヶ丘小学校では、県無形民俗文化財に指定されている伝統芸能「大沢田植踊」を、5年生が学習発表会で披露します。

田植踊には、大きく三つの役割があります。一つ目は踊り手で、男役の弥十郎と女役の早乙女に分かれて踊ります。弥十郎は頭巾をかぶり、羽織物を着て踊ります。踊りの中には長い口上があります。早乙女は、頭に花がたくさんついた笠をかぶって踊ります。女役も男性が務めるのが、大沢田植踊の特徴の一つです。二つ目はお囃子で



編集委員 阿部唯菜、伊東結莉奈、稲部勝己、斎藤衣千花、島木柚咲、谷山詩歩（6年）
指導教員 酒井成太郎

わが校わがまち スクール通信



次回は
北方小（登米市）
北中山小（仙台市）

海洋ごみの多さに危機感

唐桑小

清掃行い環境保全訴え

唐桑小学校には、特別の教育課程「海と生きる探究活動」という授業があります。3年生以上が自然や産業、文化などについて課題を設定し、探究的に学んでいく学習のことです。

私たちは5年生の時に、唐桑や世界の海について探究活動を進めました。地域の浜の調査活動では、魚やウニ、タコなどの海洋生物を見つけ、身近な海が豊かであることを感じた一方で、ペットボトルや漁具などの海洋ごみが多くあり、危機感を持ちました。

そこで、「休日のビーチクリーン活動」や「環境保全を呼びかけるオリジナルエコバッグやステッカーの配布」など、古里唐桑の海を守るために、自分たちにできることを考え、積極的に行動しました。他にもベクトルのごみを減らすために、西表島の小学生が考えた給水器を唐桑にも設置しようと、実現に向けて活動しているグループもあります。

みなさんも住んでいる地域のために自分たちにできることを考え、行動してはどうでしょうか。



ビーチクリーン活動を行う子どもたち

編集委員 伊藤真凜、小山紗奈、小山咲穂、小山心琉（6年）
指導教員 豊田雅也

これがイチオシ

絆深める「桑の葉祭り」

唐桑小学校のイチオシは、「桑の葉祭り」という児童会行事です。桑の葉祭りは、4年生以上の子どもたちがクラブごとにスライムやプラ板作り、ボウリングなどのお店を出して下級生を楽しませる行事です。昨年度、中井小と統合して初めての桑の葉祭りには地域の方や幼稚園の子どもたちも来てくれて大にぎわいでした。

祭りを通して下級生と上級生の絆がさらに深まりました。私たちは、これからも参加した人に楽しんでもらえる桑の葉祭りになるように頑張ります。

学校名 気仙沼市立唐桑小学校
所在地 気仙沼市唐桑町明戸208の6
創立 1873年
電話 0226(32)3142
校長 昆野 光行
児童数 147人

宮城県白石市福岡中（生徒77人）で、地元特産の白石和紙を使った絵手紙の作品を描く授業があった。元小中学校教員で和紙作品を手がける佐藤裕子さんを講師に招き、2年生16人が取り組んだ。

授業は6月19日にあった。生徒たちは、はがき大の絵手紙を使用し、「ふるさと」をテーマに、白石を連想させる白石城、伝統こけし、キツネなどを描いた。

市内の小学6年と中学2年生を対象にした絵手紙作品づくりは地元の伝統産業に触れ合う機会を設けようと、2年前に始まった。今年の中学2年生は、小学6年だった時にも絵手紙作品づくり挑戦している。

授業では2年前に自身手がけた作品を持参する生徒もいた。同じ生徒たちを2年前にも教えた佐藤さんは「絵が上手になっただけでなく、文字でどう見る人に訴えるかという手紙の特徴を生かした部分で成長を感じ」と話した。

白石温麺を題材にした須藤萌衣さん（13）は「周りの皆が描いておらず、白石らしいものを選んで、箸で麺を持ち上げる描写を含め、完璧に仕上げることでできた」と振り返った。

作品は8月に同市中町の寿丸屋敷である「白石和紙 絵てがみ展」で展示される。市内の小中学生から約500点の出品を見込む。（6月25日朝刊より）

白石和紙 魅力届け!!
宮城・福岡中 絵手紙に挑戦

佐藤さん(中央の指導を受けながら取り組んだ白石和紙の絵手紙教室)

「スチューデントシティ」は、仙台市内の小学5、6年生が仕事を給料をもらい、買い物や納税をする「小さな街」です。河北新報社は、紙面編集などの仕事を体験する支局を開設しています。



七郷小6年

(6月24日)



上野山小6年、将監西小6年

(6月26日)

河北新報の仕事 がんばった
仙台市スチューデントシティ支局員紹介

榴岡小6年

(6月18日)



榴岡小6年、泉松陵小6年

(6月19日)